立教大学新聞

発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座東京70852
電話(86)3120—9
内線 137
編集兼日刷発行人
野口定男
(毎月廿日発行)

カメラとD.P.
秋の写真は仕上げのきれいな当店へ是非
パール堂
池袋 千代田銀行斜西口TEL(6)3041

文化祭盛大に開く

恒例の文化祭は学生側の強力な要望が実り、学内外にわたって多彩な催しが繰り展げられた。

まず構内講堂で、午後一時より文会部長加藤君の開会の辞、文化会会長菅教授の挨拶があって、軽音楽・グリークラブ・管絃楽各部主演の音楽の部で華麗があった。一方四〇一番教室においても、文化祭記念講演会として法政大学教授本多顕彰氏、わだつみ会会長柳田謙十郎氏、東大名誉教授鈴木三郎氏、更に「ロシヤ音楽とソヴイエト音楽」が音楽評論家園部四郎氏の解説で行われた。夜に入って同じく四〇一番教室で菅教授解説提供の「アメリカ紹介」フランス映画「自由を我等に」が飯島正氏の解説で上映された。その外考古学遺品陳列・目でみる世界各国の情勢スチール展など沢山開かれる文化祭であった。

今度の文化祭には、予算面では、学校から事業費、文化会の本部費などで行うが、学生側の文化活動に対する力強い熱意から催されたものであった。また新部室完成により文化会の活動がより一層活発にならんとしている時、文化祭が盛大に催された事は、大きな意義があるものと思う。

この外英語会、演劇研究会、グリークラブ等が読売ホールに、三越劇場に、日比谷公会堂にと演劇、演奏会等を行い、十一月には学外でも活発な活動が行われる。

就職戦線低迷続く

最大原因は学力の不足

各省の採用試験もたけなわの昨今、未だ昨年の三分の二以下であった後の蓄積が期待されている。昨年ほぼ六百パーセントに達する就職率をみせたが、今年は各所で評判は青ほしくなく、大量の卒業生を送り出すとはいえ、近来稀な不振といわれ、当初の楽観はくつがえされその成行は憂慮される。そこで再び人事課で今迄の就職状態を探ってみた。

経済学部　採用決定は金融部門が大部分であるが、成績はよくない。この原因を探ってみると最大なるものとしてあげられるのは、学力の極度の低下であり、ことに英語の実力がゼロに等しいことである。また近代経済学の不勉強も、他校に劣り相当のマイナスとなっている。〝立教の英語〟とまでいわれながら英語の実力の乏しいことは一、二年に亀校程度の英語、後は英語経済のみという学課の排列に欠陥があるのではないかと思われる。更に学生が点の取り安い課目に集中し、安易な学問のみ行っていることも学力の低下をもたらす原因となっている。

とにかく、今年の学生は昨年にくらべて「出来ない」と評判が悪く「信らず、全く成績が悪い」ことであった。

文学部　例年は商事会社へかなり進出しているが、今年は経済学部に圧倒されたが、今年は経済学部に圧倒されて求人が少く、僅かに官務理にたれる。

最後に採用決定状態をみると、主なところは次のようになっている。日銀一、帝銀一、鶴銀一、大阪銀行一、神戸銀行一、勧和銀行一、第一銀行三、富士銀行一、ニュー糖一、川崎製鉄一、日興証券一、NHK二、服部一、日本パルプ一等である。

理学部　地方の新制大学なども同様、設立以来日浅く、過去の実績が全くないため、社会にその存在を殆ど認められておらず、その就職は相当の困難が予想される。しかし中小理学部長始め各教授の熱力により、現在各社の採用試験を受験しつつある。この外教職過程を履修している教育関係への進出にも希望が持てて来た。

ここは最攻学科が多く、各学科によって就職方面もかなり異る。それぞれ各学科の希望を探ってみると、

英米文学科は教育関係または生産会社を、キリスト教学科は会社の人事部等で宗教的立場から活躍せんとし、心理教育科は教育科学研究所などへ、社会科は棟々の就政労務部、新聞報道関係へ就職を希望している。

資本主義発達史講座開く

去る廿二日から始まった日本資本主義発達史講座は第一回として、明治維新期を中心に、東大遠山茂樹助教授を迎えて盛大に行われた。同講座は引き続き毎週一回学内外の横顔者を招いて行われる。なお同講座の内容は青木書店より出版される予定である。

マーティン氏講演

東北大学及び鹿児島大学講師パートン・E・マーティン氏の「近代アメリカの小説」と題しての特別公開講演が十月廿一日より廿四日迄四日間五十四番教室で行われた。

新部室をめぐり紛糾

文化会と体育会が対立

共に強行態度で譲らず

既報＝文化会館完成の記事は、その後各方面に波紋を投じ、文化会館という名称は文化会の一方的見解であり、正式の名称はないとする学校側、総委員会、体育会と、あくまで文化会のものとする文化会との間に食い違いを生じ、学生会でも改めて、この問題を学生会議にかけようとする機運が動いている。新部室は九月下旬完成し、現在文化会各部が入室し、ここを基盤として活動を始めている。これに対し体育会では長い伝統をもちながら今なお、部室のない部がある現在、文化会の努力が実を結んで建築されたことは認めるが、少くとも同好会程度の正式に文化会館が完成するまで開知すず、完成後慌てゝ動き出すなど、グランド問題に全力を傾けているとはいえ、本部員の意識を疑めらるべきものがある。そこでこの部室割当をめぐる紛争を探ってみた。(写真は問題の新部室)

この問題について、体育会では部化会にこれを伝えた。しかし文化部室割当責任者である小川学生部長は、文化会代表の加藤委員長を招いて行った数次のキャプマネ会議で、新部室は昨年の計画当初から部室のない部のために建てるとの前提としているのであるから当然体育会にも入室の権利はあると、文化会では部室は昨年計画されたが、資金の関係で今年にもち越されたもので、その紛争の出発点で一、果して昨年の計画の継続によるものか二、今年の新規計画であるかの二点が問題となった。体育会では小川学生部長が昨年体育会本部で説明された新部室移転計画によれば、一の場合には当然体育会にも割当がある筈であり、二の場合には新計画に関する説明が事前になされるべきで、事前に何らの通知もなく建てたことは寧ろ文化会の一方的やり方であると攻撃している。しかも予算は理事会、部長会議でも部室の無い部のためにとの名目で通過したもので、文化会で部室獲得に努力したからとの理由で、同好会程度の、正式に学生会議で文化会所属が承認されていない部までが、部室を占有することは不合理だとし、正式に文化会に所属していない部の立退きを要求した。しかし文化会では計画は昨年からあって、今となって体育会からの「立退き」という発言が、学術会議の席上で行われています現在の二大世界の対立が続く限り、この危惧の解消は望めそうにもありません。

斯くて日本の科学者の夢は、原子力の平和的応用について、何等の懸念もなしに、自由に研究し得るようになるという事であります。それは又世界平和の達成という事に密接に関聯した事でもあります。この夢が果して実現出来るかどうかは、地味なようでも、矢張り我々一人一人の努力にかゝっているのではないでしようか。

（次は学生田先生へ「私の社会主義」のテーマで願います）

問題はなく、しかも文化会では五月に部室獲得委員会を設け、小川学生部長は委員会の交渉の席上で文化会館室のみは体育会、総委員会と共用の條件で、他の十二室は文化会のために建てることを明言しており、菅文化会々長、秦総務部長も終始これは認めていたものであって、今となって体育会からの共用の理解」と題して菅教授、および「クランマーの聖餐論について」と題して後藤真教授等が研究の発表を行った。

研究発表会終了後十九日の午後三時半より会員総会が行われ、次の二事項が決議されその具体化に着手することになった。

一、わが国教育機関における宗教禁止するのは、理由薄弱であり、自由な学問研究を阻害するものであるとして、少くとも二ヶ所以上その掲示を認めて欲しいと申し入れて、その後総委員会と学校側との交渉の結果、学生部でもこれを入れて、今後学食前水呑場附近その掲示が認められることとなった。これについて運営委員会では、学問的向上を計るためにも入目につく所に立てたいのは当然であり、六月の弁論部主催の「石田一松氏講演会」の看板は銀杏の木の下に立てさせておきながら、この看板が単に美観を害するからとのみの理由で立てさせぬのはおかしい。今度水呑場での掲示が許されたがあと一、二ヶ所の掲示の自由を認めて欲しいといっている。

二、わが国教育機関における宗教

新たに大学院に申請

神学研究科学理研究科を

文学部では英米文学研究科を大学院に設置しているが、本学の中心であるキリスト教研究の設備を整える必要があるため、神学研究科を大学院に申請することになった。そして今後、更に組織神学専攻を大学院に申請することになった。

一方理学部でも、理学研究科を大学院に申請することになった。これは化学専攻・原子物理学理論専攻・原子物理学実験専攻にわかれ毎年十六名づつ採用する予定である。理学研究科は現在の陣容を主力とするが、との外東大・工大・科学研究所から七名の講師を招く予定である。なお将来数学科の申請も考慮している。

日本宗教学会 学術大会開く

高松宮も研究に参加

日本宗教学会十二回学術大会は十八、十九の両日四〇一番教室その他で開かれた。宗教学会とは宗教を学問的に研究する人々によって構成され、設立より廿有余年を経過している。本学で開催されたのは昭和十二年以来今回で二回目である。

大会は十八日午前九時半四〇一番教室での開会式で始められた。開会式は学会会長岸本英雄氏、つゞいて佐々木総長の挨拶が行われたその後直ちに研究発表会に移り、二日間にわたって熱心な研究・討論が行なわれた。なお高松宮も一会員として研究会に参加された。

本学では「キリスト教における死の理解」と題して菅教授、および「クランマーの聖餐論について」と題して後藤真教授等が研究の発表を行った。

研究発表会終了後十九日の午後三時半より会員総会が行われ、次の二事項が決議されその具体化に着手することになった。

一、わが国教育機関における宗教禁止するのは、理由薄弱であり、自由な学問研究を阻害するものであるとして、少くとも二ヶ所以上その掲示を認めて欲しいと申し入れて、その後総委員会と学校側との交渉の結果、学生部でもこれを入れて、今後学食前水呑場附近その掲示が認められることとなった。これについて運営委員会では、学問的向上を計るためにも入目につく所に立てたいのは当然であり、六月の弁論部主催の「石田一松氏講演会」の看板は銀杏の木の下に立てさせておきながら、この看板が単に美観を害するからとのみの理由で立てさせぬのはおかしい。今度水呑場での掲示が許されたがあと一、二ヶ所の掲示の自由を認めて欲しいといっている。

新声

看板のこと

九月二十日付第九号の本欄に看板は校内の美観を害するか？と題して、総委員会に対する項についての要望があった。

御意見によると、学生部に対する項と、総委員会に対する項についてのことになっているが、看板のことについてはあくまで学生部と連絡を取りて、その旨を伝えた。それ程悪いんだそうである。また総委員会総会にこの件がとりあげられなかったのが悪いんだそうである。けれども看板をたてる場合は、その部会は看板の大きさと（その時の事情によって異るから）その看板を集会日の何日前から立てるのか、また何本立てるのか、さらに立てるのか、ということを御承知のことでしょう。その約束は誰でも守られねばならないのです。その約束を守りましょう。

また総委員会総会で経済学会に属する一総委員の方が議題をたされたのですが、総会を開く前に議題をたさないために時間経営が合理的にできません。大切なことは総会の直前にでもたされることが望ましいのです。

最後に御意見によると学生ボスのための組織とやらうんぬんの協力的な注意を寄せてくれたこと有難う。全く御意見のとおりです。けれども総委員は学生部の連絡機関でないことを十分知っておられるでしょう。看板に限らず、今さらということはかえって愚かなことです。そこでなるべく早く看板を立てることについて、学生会の役員が各自の立場で要望点をだし合い、それをまとめて、学生部と相談し善処したいと思っているのです。この点について諸君の意見と協力を聞きたいのです。

（総委員会意見処理小委員会）

科学者の夢

佃正昊

漸く其の毛穂を終へたのみでありますが、この廿世紀ほど科学技術の成果が豊かに実った時代はありますまい。レーダー・テレビジョン、ジェット飛行機、一連の新薬など、色とりどりの華かな文明の開花は誠に目覚しいものがあります。特にその内に人類の未来を左右する威力を秘めて登場した原子力の開放こそは、人間の歴史に新しい一頁を書き加へたものとして特筆されねばなりません。

然し又一面からすれば今世紀は、憎悪と混乱のそれであったとも言へます。二度に亘る世界大戦の余燼の収まり切らぬ中に、早くも第三次大戦の影に脅えている現在の世界であります。

戦争といふ一国の使命を懸けた闘争が、必然的に軍事科学の異常な進歩をもたらす事は確かであり「第二の火」である原子力も、大戦が起らなかったならば、このように早く人間の手に把握されなかったかも知れません。それにしても大陸エネルギーにのみ頼っていた大量殺りくを目的とする「原爆」にのみ利用され、平和的応用は殆ど顧みられていない、否顧みる余裕を失っているといふのは、実に皮肉な事実であります。そしてこの「原爆」の残酷さは、我々日本人のみが体験しただけたといふのにその衆智の学問的発表さへもイタリーで禁止され、これをテーマとした優れた映画の輸出を禁止しようの事といふ勿論さ伝えられています。

さては廿世紀後半の最大の課題は「原子力を爆弾にではなく、平和的なもの、応用する事」でありましよう。日本としても原子力の研究・軍事的以外のものを考えることは日本文化の発達に欠く可からざることです。然もその研究は飽迄も平和的なものに限られねばなりませんが、この事は現在の日本では決して保障出来るとは言えません。「政府は信用出来ないから…」「軍事的に利用される恐れがあるから、たとえ日本文化の発達が遅れても、研究しない方が未だ良い」という発言が、学術会議の席上で行われています現在の二大世界の対立が続く限り、この危惧の解消は望めそうにもありません。

斯くて日本の科学者の夢は、原子力の平和的応用について、何等の懸念もなしに、自由に研究し得るようになるという事であります。それは又世界平和の達成という事に密接に関聯した事でもあります。この夢が果して実現出来るかどうかは、地味なようでも、矢張り我々一人一人の努力にかゝっているのではないでしようか。

（次は学生田先生へ「私の社会主義」のテーマで願います）

論説

本学の特質を生かせ

現在の学生生活を大きく左右して、早稲田に大隈講堂あり、慶応に福沢諭吉あって独得の学風を有し、車弁西走層の温まるいとまもなく、採用試験に没頭している。ところで就職状況は昨年の三分の一にも達し得ず今後の成り行きが尊慮されている現状である。来春は例年になく大量の卒業生が巣立つためとはいえ、本学でも何らかの対策が講じられない限り、就職難は慢性的、永久的なものとなり、秋がめぐりくるたびに、同じ悩みが繰り返されることになるのは明瞭である。その対策として一つの問題を提起してみよう。

現在の学生は、就職問題である。本学沢論吉あって、学問のみならず、学びものの殆れ、学問を志す人物を一にする時、立教は立教大学の英語での名称に過ぎず、ミッション・スクールが学生に他の学校の与えない何物を附与するかといえば、それは勿論、神学と宗教学に関する特殊の学問を与えるのである。然しその教育の課目をと級の基督教倫理の時間にさえも他の課目と同様に成績を気づかう一つけても、学生が本学の特質を身に付けるべきである。

部室の無い部のために建てた

秦　総務部長談

部室が無い部に建てるとの陳情が多いあろうか。又セント・ポールを守護神として戴き朝な夕なその言葉を口にしておりながら、セント・ポールは何を意味するのかを知らず、セント・ポールについて聞わ御育側演は美行不可能な高逆な理想を運ぶだけであろうか。

× × ×

・スクールが学生に他の学校の与えない何物を附与するかといえば、それは勿論、神学と宗教学に関する特殊の学問を与えるのである。然しその教育の課目をと級の基督教倫理の時間にさえも他の学生にのみ効果があるが、この課目と同様に成績を気づかう一つけても、学生が本学の特質を身に付けるべきである。

× × ×

ミッション・スクールが学生に他の学校の与えない何物を附与するかといえば、それは勿論、神学と宗教学に関する特殊の学問を与えるのである。然しその教育の課目をと級の基督教倫理の時間にさえも他の学生にのみ効果があるが、この課目と同様に成績を気づかう一つけても、学生が本学の特質を身に付けるべきである。

× × ×

ポールは何を意味するのかを知らず、セント・ポールについて聞わ御育側演は美行不可能な高逆な理想を運ぶだけであろうか。

× × ×

セント・ポールを守護神として戴き朝な夕なその言葉を口にしておりながら、セント・

物言う日頃の努力

目立つ語学力の低下

十一万六千と云う未曾有の大量卒業生を迎えて、激烈をきわめる、就職戦線に際して、本紙では去る廿三日経営者側、学校側、既に就職先の決定した学生側代表にお集りを願って、今年度の就職戦線を省みて、それぞれの立場から忌憚のない意見を聞いてみた。

本紙　今年の就職状況の出足は例年に比べてどうですか。

綱本　実に悪い、三分の一だ、立教の学生は学校の成績も非常にいい、会った感じもいい、先ず例年位はと過信していたが、いざ蓋をあけて見ると、全く出来ない、特に英語はゼロに近い、世間では立教は英語は出来ると思っているが試験の結果は非常に悪いんだ勿論卒業生の数も多いことは確だしかし最後に決る決らないは別として、第一回の筆記試験で全滅するというのは、実力がないと見る他に仕方がない。

本紙　学生の就職希望先はどうでかす。

綱本　百貨店が一番多い、華やかな所を狙うね、次は金融関係下生産会社、商事会社。

本紙　近藤さんは文学部を代表しておられるのですが、文学部の場合は。

近藤　専攻学科でみな違うが、やはり生産会社を狙う、社会福祉など施設の方で来てくれと云ってるし、要求さえOKと云えば一〇〇%なんだが。英文科の方も生産会社と教育が半々、基督教学科は教会社の秘書課の方で、神学校に行くのだと云う考えは大きな誤りです

本紙　藤田さん、今年の不振の原因について経営者側の立場から。

藤田　非常に悪い、私はれい河西先生に試験の結果を持って行って見せようと思うが、私の方で百点満点の所、平均点数は最低四八点、農農、中央、明治が三八点、立教は三一点だ、全平均点数は三五・五で平均点以上は教育二名これじゃどうにもならんよ。

本紙　そういう悪い成績は学校の授業の配列なんかにも……

綱本　確に悪い、第一銀行の場合

藤田　縁故が非常に関係あると言われたが、採用する側から見ると限度がある。会社も企業体であり縁故に重点をおいて採用したら将来の人事構成は絶対だとは言えない。少くとも教授は近代経済学を二つもやっている。

綱本　ある一定の水準を通過して始めて縁故が有利になるので、縁故だけらと無條件で君はよろしいと採用したらどうなる。我々の所でも二十人の役員がおる、取引先関係が縁故で採ったらやばいがない。

小森・四釜　全然ない

藤田　縁故がないから駄目だという考え方をもつことは間違です。三十五人に対して五百人、私一人で三十五人位おりますよ。これは

左から藤田氏一人おいて綱本氏近藤・小森・四釜君

新卒業生の教えるもの

経営者・学校・学生代表に聞く

座談会

四釜　小森君の言う思想関係はと私の又入工人事課長をしているが、その人あたりの意見ではやはり、五分、十分の面接で人間の質、思想傾向が分るものではない、結局その人間を知るにはその人間を一番知っている人が評価するものであると云うので、その会社はそう云う方面に重点をおいている。しかし一応成績は悪くても縁故関係で採る自他共に入ると認められていた者が落ち、他の者が入ったという場合もあった、そこで試験を受けに行くものは縁故関係が強いということが観念的に頭にしみ込んでいる、縁故関係と云うものは受ける者には相当強い圧迫となって来ている様に思う。

藤田　縁故がないから駄目だという考え方をもつことは間違です。三十五人に対して五百人、私一人で三十五人位おりますよ。これは

綱本　勿論成績だが会社によって異る。

本紙　会社の書類選衡について。

藤田　去年はやったが今年はやらなかった、学校の成績の標準は各大学で違う、形式上落すと云うだけだ。希望を受けつけたら千、二千となる。それに旅費、日当を出したら大変で受験者数を制限したら受験者数は制限するが、希望者は機会均等を与えてやらねばならない、書類選衡と云うのは希望を断る一つの手段なんです。

綱本　希望者の多い場合成績でふるい、一応入れて受けさせるのが縁故は一応入れて受けさせるのが縁故は一応入れて受けさせるのが縁故は

同窓会版 3・4面

臨時発行

日毎に移り変る学園

池袋も昔日の面影なし

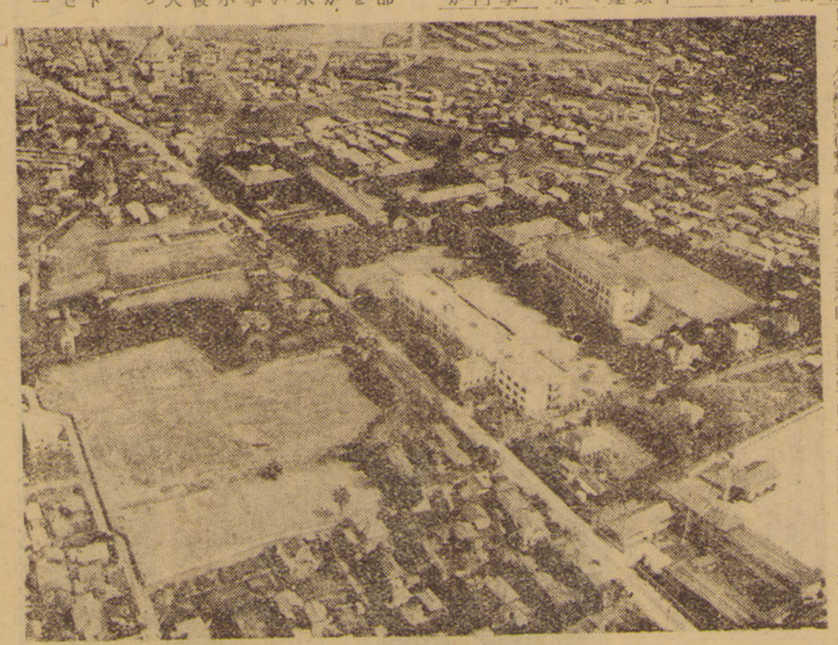
武藤重勝

僕達が立教に入学したのは大正二十年の暮れのころだから、もう三十年近くになる。あのころは今と違って学生数も少いし、学園も静かでのんびりした空気が流れていた。

授業のない午後など、また大きく茂生に反響を覚えべって談笑したものである。その木が今は見上げるように大きくなって、秋になると一ぱい実をつけている。そしてその実をとろうと近所の子供達が木にのぼったり、石を投げたりして時々校舎の窓ガラスをこわすので学校も困っている。そういえばプラタナスの並木も大きくなった夏になると緑のトンネルをつくり夏休暇のひっそりした暑い日などが懐かしく思い出される。

古い卒業生アルバムを見ると、ひとびとのひとりとして木が校庭のあちこちに植えてあるのが写されているが、今の緑の学園はそのころに比べると雲に驚嘆無量である。正門から場を間さんで校舎をくぐって廊堂に行く道、右に曲って普の予科校舎に行く道――戦後、アルバイトの学生達によって赤煉瓦で舗装されたが――あそこが一番なつかしい。

文学部、経済学部研究室になっている処は東西に別れた寮で、ウランステッド氏さんは西寮に、コールドウエルさんは東寮に泊っていた。



（写真説明）去る九月廿三日、朝日新聞社野球部が撮影したものである。中・上方が大学の建物であり、鶴斎と茂る木々に囲まれ学園の名にふさわしいその右後方が新館、下二階は理学部が使用している。右手前より小学校、二号館、中学校、高等学校の順に立っている。道路を隔てた広大なグランドは、もと神学院のあった場所であるが、最近整備され、トラック、砂場、バレー・コートなどの設備が完備している。写真でみられる様に立教学院は発展の一途をたどっている。

正門の前は昔は畑であって、其後強盗小学校が出来た事は皆知っているが、戦災後、そこは学園拡張のための敷地になった。残ったブールは夏期は公開されて、近所の子供達に喜ばれている。

学友会館の建物は階下が学院の診察所に使われているが、その南に近代的な明るい会館が出来て学生達に利用されている。昔あの校友会館の二階に古ピアノがあり、階下に運動があって授業が終った冬の日など、薪をたいて語り合った。

鐘の音もベルに切り換えられて頃、そこが整備されて、アメリカ能率本位になり、昔のなつかしい鐘の音も思い出となった。時代の変ると共に学園も高構想の下に生れ変って行く、またその様に学園の外の池袋の街も変って行く。

あの頃の映画館も喫茶店もよく訪れた店々も、名前が変り、人が変り、場所が変っている。田舎からある情緒茶店などと見かけるも事がある。会うは若い頃の懐かしさである。すっかり老けあがった、髪が半白になっても気持は若い教ボーイである。

子供が小学校に行って、中学、高校、大学に進行様になると校友が学園を訪れる回数が多くなり、野球や、ラクビーのシーズンになると神宮などで好く出会って手を握り合ったりする。

池袋駅の東口には西武デパートのあの見事な校も、廊も、校舎も、すっかり焼けて失って、今は学院のグランドに使われている。近頃、そこが整備されて、アメリカ・フットボール、バスケット・ボールの練習が行われ、軟球変ると共に学園も高構想の下に生れ、銀座、浅草への開通も間近いと出される。あの前の東京パンで買って、帰りに茶屋でお茶を飲んだものだが、今は全く活気はあるが喧騒の巷と化した感じた。

（昭5文学部卒、副図書館長）

校友連合会について

校友連合会副会長 名倉喜作

旧校友会は個人を会員とする機構であったから、夫々の同窓会員は中学に、高校同窓会があり、高校、大学は大学同窓会があり、あるが旧くから学院校友会の名称があるが旧くから学院校友会の下に立教出身者の全部を網羅して組織があった。しかしその後このの、深い関心をもつ結束となって自治校友会を有名無実の存在にしめていた。校友連合会はこの点を是正して、個人を会員とせず、各同窓会の連合体の機構に改めたのである。

大学同窓会はその会則によって会長名誉会長として、また、大学同窓会長岡野正司氏が連合会長を兼ねておられまた連合会長は学校法人立教学院にエックスオフィシオ理事長として学院の経営面に参画されている。

校友連合会の目的はその会則によって「会員相互の連絡親睦に資し且つ立教学院の発展に寄与すること」にある。連合会としての事業は各同窓会の事業を重複乃至は対立関係の生ずる点を考慮して活動はなく専ら同窓会相互の連絡及び立教出身者全部に亘る会員相互の連結に資することに重点をおいて、立教全体の開発に努力を傾注している。地方在住の立教出身者の集りにはそれぞれの事情によって立教出身者一本の集りをされているところも少くないと思われるが、そのような場合の連絡に資するために母校には立教学院校友連合会本部の看板を掲げて大学同窓会の事務をも、ともに事務を執っているから、極力御利用されたい。連合会の役員には学院理事長を名誉会長として、また、大学同窓会長岡野正司氏が連合会長を兼ねておられまた連合会長は学校法人立教学院にエックスオフィシオ理事として学院の経営面に参画されている。

（昭3）浅岡磐一（昭17）斎藤昭（昭25）川崎幸雄（昭25）小林寿夫、石井千寿、関川博雄以上在校生、会長、飯田要之助、幹事藤井一郎、相尾輝明、以上

"東芝立教会の集ひ"

六月五日（木）午後六時より鶴見の京浜工業協会に於て、新入会員歓迎会を兼ね、その他、定例会合は年一回とする。一ケ月の徴収金額は二五〇円とする他、会費に関する問題、小宮昭一の両氏が推薦された。

（〃13）小野文三郎（〃13）上村陽一（〃14）大久保正雄（〃14）高橋達夫（〃16）大崎定雄（〃16）鈴木力（〃16）杉木栄次（〃16）田中正一郎（〃16）溝口実（〃16）嘉多信之（〃18）保坂正二（〃19）天田芳貴（〃27）以上（前田記）

"群馬県支部発足"

群馬県支部清成第一回の発会式は去る八月廿三日OB約四十名現約二十名の参加を得て盛大に行われた。

会は先ず清成経過報告、会則審議、役員選任、行事予定等を決定、次いでOB現役との懇談に移り、現役は大方振りに住時の学生々活を思い立教大学OBとしての誇りを胸たどし相談者々の中に終了した。役員左の通り、支部長（会長）中沢三郎、理事金子文衛、本橋達郎、深沢基太郎、江原伊一、菊地与吉、野沢寿郎、寺内豊平、木舞欽一、小河原茂、毛塚武、樋口雅夫、櫻井宏之助、諸議、昨年以来病臥中のところ一昨年八月十二日永眠されましたのでお知らせ致します（中島弘）

地方職域通信

第六会（昭和二十七年度）

第一回の昭六会は、去る十月二十三日（木）夕刻より日本橋の某所に於て盛会裡に開催された。殊に今回は学院側の件が議って居りましたが、だんだんと卒業生も増へ在校生も相当数に上って参りまして、あちら、こちら、立教会の誕生を願う声が起って参りました。

かって何年か前に東京に居られた小宮泉氏が発起となって、千葉県立教会を作る意味で千葉市の某学院講堂に対する協力方の要請があれば、一同拍手を以て之に答消へのような状況にあったと思います。

そこで小部分的ではあるかも解りませんが、兎に角有志が集って懇談して見ようと言う運いの気持で一応千葉県印旛郡に住居する有志が、鷺鳥地区成田に会合をして旧交を温め、母校の鐘を懐い浮べつゝ、そして印旛立教会を設立することに一致しました。会員する者九名少数ではありましたが、母校の懐旧部の花が咲き、在校生と共に和やかな空気に手目を挙げしました。また規約も何も出来ませんが、近く規約制定の御報告すると共に今北海道合せて十一名と言う事になる予定です。

印旛立教会設立及設立に就て

母校を真近に控へて千葉県に立教会のないことは誠に寂しいと思ったのであります。

（昭25）小野文三郎、石井千寿、関川博雄以上在校生、会長、飯田要之助、幹事藤井一郎、相尾輝明、以上

"東芝立教会の集ひ"

六月五日（木）午後六時より鶴見の京浜工業協会に於て、新入会員歓迎会を兼ね、その他、定例会合は年一回とする。一ケ月の徴収金額は二五〇円とする他、会費に関する問題、小宮昭一の両氏が推薦された。

（〃13）小野文三郎（〃13）上村陽一（〃14）大久保正雄（〃14）高橋達夫（〃16）大崎定雄（〃16）鈴木力（〃16）杉木栄次（〃16）田中正一郎（〃16）溝口実（〃16）嘉多信之（〃18）保坂正二（〃19）天田芳貴（〃27）以上（前田記）

"群馬県支部発足"

群馬県支部清成第一回の発会式は去る八月廿三日OB約四十名現約二十名の参加を得て盛大に行われた。

会は先ず清成経過報告、会則審議、役員選任、行事予定等を決定、次いでOB現役との懇談に移り、現役は大方振りに住時の学生々活を思い立教大学OBとしての誇りを胸たどし相談者々の中に終了した。役員左の通り、支部長（会長）中沢三郎、理事金子文衛、本橋達郎、深沢基太郎、江原伊一、菊地与吉、野沢寿郎、寺内豊平、木舞欽一、小河原茂、毛塚武、樋口雅夫、櫻井宏之助、諸議、昨年以来病臥中のところ一昨年八月十二日永眠されましたのでお知らせ致します（中島弘）

事業報告

前回報告以後

▼七月四日（金）午後五時半から建築会館会議室で廿七年度第一回理事会開催、一、立教学院校友連合会役員総会並に理事会席上に於ける件の内、立教学院校友連合会の賛成を大学同窓会本部に掲げる件を可決、二、立教大学同窓会昭和廿七年度事業計画実施具体的方策について、廿七年三月卒業生の名入五〇円宛の拠金は一〇〇五〇円（一〇〇一人）に達し、なお若干ある予定、使途については今年度卒業役員により、その希望に従って、学院側と連絡実施することに決定、3、支部結成発展の促進運動について◇本年度支部結成する処（一）埼玉銀行紫友会会長安藤秀世（大11）（二）印旛立教会会長飯田要之（明27）◇目下結成しつゝある支部（一）群馬県立教会、4、就職斡旋協力◇学校側としての希望及その他の所見（一）総長、同

（光）

〝沈黙の声援〟も空し

選手よ！誇りを持て

好村三郎

数多くの諸先輩はもとより校友達の一挙一動に、心ならずハラハラ不風潮と成績が悪い。これは一体何が原因しているのだろうか、今秋は戦後最期期待をもたれていたもまた農業祠今秋だけに期待をかけたわけではないが人一倍熱烈野球部に関心を持つというのも、かって野球部の誇にいたからでもあろう。

勝ってもらいたいという願望でネット裏の一調から、野球部選手は、第一戦の対法政に敗れてわずかに持った自信はぐらつきはじめて立教のユニホームが早大あるいは慶応と入れ代ってあのユニホームを着ければ現在立教の選手となった方がより力を発揮するように思うがこれはヒガミだろうか。

早慶両チームの選手の力量と立教のそれとは格段の開きはない。しかし彼らは早慶チームの選手であることの誇りを持っているようなら、もっと神学院のあった場所であるが、最近整備され、トラック、砂場、バレー・コートなどの設備が完備している。写真でみられる様に立教学院は発展の一途をたどっている。

早慶チームに青つ誇りを持っている人が幾人いるだろうか。これは昭和十二年入学して十七年卒業するまで上級生、下級生をずっと眺めて来た私の野球部観でもあった。

当時立教は粘りが伝統とか誇りから愛されるチームといわれてはいたが、チームの底を流れるものは何か私には測りれないものがあったと断言していいのはチームにバツクボーンがなかった。

大正十一年飛田穂洲先生の推せんで六大学リーグに加盟して以来、幾多の記録を残して今に至っているが、立教野球部の伝統というものはもちろん形の上に現われるものではないが、無形のうちに何を意識しわれわれは何をつかむことが出来たか、それは歴史的の指導者にそなわるものである。はっきりいえば指導者に人材がなかったといえるのではないだろうか。

長い間こういった無監督制立教にとってはマイナスであった、と言い切れる。

その時代の指導者は主将であり主将の性格によってあらゆる変化が多く年々チームとは一貫したものはなかった。

"たゞ俺達の時代だけは"という見栄えしかなかったと断言してもいいだろう、二代、三代とあっとのことを思って、部を思った人がいたろうか。これら看過した。われわれもその責任の一端を背負はなければなるまい。

しかし戦後はこの無監督制が打破されただけでもよかった。

野球部はいま部相監督という好指導の下に精進をつづけてはいるが、早急に成果を望むのは無理である。彼と完全なる指導者ではないがどこかに無私、ただ野球部のために練習に何の打算もなく情熱をもって、準備に体当りして行く彼の指導を若い人々がしっかりかみしめて行くなら、やがてしっかりと立教野球部も大地に根を下ろすであろう。

しかし彼一人だけにこの大任を強く期待するのは、無理である全国に散在する立教の諸先輩に早生時代や憧憬時代に帰って意気軒昂たるものがあった。歓談は何時迄続くともなかったが、午後十時散会した。

なお、昭六会々員で住所の判明しているのは目下のところ百十余名。その中東京在住者は六十四名、関西十七名、東北、北海道合せて十一名と言う事になる。

（昭1慶卒、朝日新聞運動部記者）

各地に支部続々誕生

〝印旛立教会設立〟及設立に就て

（幹事）

母校を真近に控へて千葉県に立教会のないことは誠に寂しいと思ったのであります。

（昭25）川崎幸雄（昭25）小林寿夫、石井千寿、関川博雄以上在校生、会長、飯田要之助、幹事藤井一郎、相尾輝明、以上

"東芝立教会の集ひ"

六月五日（木）午後六時より鶴見の京浜工業協会に於て、新入会員歓迎会を兼ね、その他、定例会合は年一回とする。一ケ月の徴収金額は二五〇円とする他、会費に関する問題、小宮昭一の両氏が推薦された。

（〃13）小野文三郎（〃13）上村陽一（〃14）大久保正雄（〃14）高橋達夫（〃16）大崎定雄（〃16）鈴木力（〃16）杉木栄次（〃16）田中正一郎（〃16）溝口実（〃16）嘉多信之（〃18）保坂正二（〃19）天田芳貴（〃27）以上（前田記）

"群馬県支部発足"

群馬県支部清成第一回の発会式は去る八月廿三日OB約四十名現約二十名の参加を得て盛大に行われた。

会は先ず清成経過報告、会則審議、役員選任、行事予定等を決定、次いでOB現役との懇談に移り、現役は大方振りに住時の学生々活を思い立教大学OBとしての誇りを胸たどし相談者々の中に終了した。役員左の通り、支部長（会長）中沢三郎、理事金子文衛、本橋達郎、深沢基太郎、江原伊一、菊地与吉、野沢寿郎、寺内豊平、木舞欽一、小河原茂、毛塚武、樋口雅夫、櫻井宏之助、諸議、昨年以来病臥中のところ一昨年八月十二日永眠されましたのでお知らせ致します（中島弘）

今日の面

河上丈太郎氏

導み切った秋のある晴れた日の午後、例大祭で賑う浦国神社を横目でみながら、約束の時間に遅れまいと三宅坂へ急いだ。反動吉田内閣打倒の大スローガンのさかった党本部に入る。受付で来意を告げていると、奥の方で「どうぞ」という声がする。ソフトをかぶった上品なおじいさんである。その人に案内され二階へあがっていくと〝私が河上です〟とおっしゃった。何ととの人が河上丈太郎氏だった。

応接室で待たされるのを予期していたのであまりに簡単な出会いに驚いた。後に従い、一室に入って座ると清廉な政治家といわれ総選挙の洗礼を受けて代議士となられた今を時めく、右派社会党の委員長河上丈太郎氏と相対した。

氏が立教中学に入学されたのは明治卅六年、在学中は前田多聞、故鶴見祐輔氏等の諸先輩と共に、弁論部にあって雄弁を振っておられたそうだ。現在の弁説の巧みさは遠くこの時に源が動もそうだ。時あたかも日露戦争勃発時、当時万朝報で戦争に対して無告の論争を行なわれていた。かかる社会情勢の中にあり、更に堺枯川、内村鑑三両氏等に内村先生の無教会主義と木下尚江の社会主義的傾向を持った小説の影響が氏の社会主義思想確立に大いにあづかった由である。

〝近頃あまり接触していないんでねえ。野球なんか懐しいところで敗けるとこれはピガミだろうか。

〝私が河上です〟とおっしゃった。何ととの人が河上丈太郎氏だった。

応接室で待たされるのを予期していたのであまりに簡単な出会いに驚いた。後に従い、一室に入って座ると清廉な政治家といわれ総選挙の洗礼を受けて代議士となられた今を時めく、右派社会党の委員長河上丈太郎氏と相対した。

氏が立教中学に入学されたのは明治卅六年、在学中は前田多聞、故鶴見祐輔氏等の諸先輩と共に、弁論部にあって雄弁を振っておられたそうだ。現在の弁説の巧みさは遠くこの時に源が動もそうだ。時あたかも日露戦争勃発時、当時万朝報で戦争に対して無告の論争を行なわれていた。かかる社会情勢の中にあり、更に堺枯川、内村鑑三両氏等に内村先生の無教会主義と木下尚江の社会主義的傾向を持った小説の影響が氏の社会主義思想確立に大いにあづかった由である。

話は続く、立大生については、右派社会党は日本の安全保障をもとに求めているのが若かりの立教の長所でもあった。

〝政治の話はそこそこにしてもらいたい〟

〝社会党の右派左派の問題は〟

〝当選出でもたんも言えるね〟

〝ア、アイトの有無、まゝ上品さというのが若かりの立教の長所でもあったが欠点だね。近しいうちに学校へ行ってみるかな、だが大学とはあまり関係がないんだよ〟

〝同級生にも学校〟英語を教えているかも〟〝あゝ、武藤先生ですね〟

〝横浜先生は英語を教えているかは若いね〟

〝私の先生だよ、何時までもあの人の辺に政治に話を移す。

〝社会党の分裂問題は〟

〝いゝ、同派とも右派に戦ったので相手にしてもたんも言えるね〟

〝中央執行委員会が開かれるそうだ。〟

〝話は変って、立大生の話題に戻る。〟

〝ふ、ふ、ふ〟

〝ふ、ふ、ふ〟

〝ふ、ふ、ふ〟

明るいサービスたのしいお買物
銀座 三越

NIPPON BEER ニッポンビール

アイススケート
水晶と広大なリンクを誇る
後楽園アイスパレス
停電による影響はございません
平日：10時―夜9時
日曜：9時―夜9時

第10回 新譜
★HIGH NOON（ハイ・ヌーン） テツクス・リツター
★POPPA DON'T PREACH TO ME（お説教は止めて下さい） ペテイ・ハツトン
★SAILOR'S POLKA（セイラー・ポルカ） ディーン・マーテイン
★VIVA PRADO（ヴイヴア・プラド） スタン・ケントン
★UNFORGETTABLE（忘れぬ） ビリー・メイ楽団
★REALLY?（リアリー） チヤーリー・バーネット楽団
★IN THE GOOD OLD SUMMERTIME（昔なつかしい夏の頃） レス・ポールとメリー・フオード
★THE BLACKSMITH BLUES（鍛冶屋のブルース） ニラ・メー・モーズ
★NATURE BOY（ネイチヤー・ボーイ） キング・コール
発売一周年記念
キヤピトルジヤズコンサート
―ジヤズの大スタイル展―
11月22日（土）午後1時開演
於 日比谷公会堂
構成司会・野川香文・野口久光 清水光雄
出演バンド・ブルーコーツ ワシントンハイツ ホットペッパーズ ジックス・ジョーズ リズム・キング チヤックベリー楽団
歌手・江利チエミ、ペギー葉山・笠田敏夫
250・200・150
各プレイガイドにて前売中
Capitol Record

時計眼鏡 貴金属 美宝堂
本店 池袋西口バス通り
支店 東口都電停留所前
TEL (86) 6051・2191

優秀技術と信用を誇る
高級紳士服 大学高専服 櫻井洋服店
池袋立教大学通り

パイロットインキ
日本万年筆計の品質！
沈澱がない・ペンが錆びない
色調が高尚で軽快に書ける。
日本 88847
米国 387844
英国 2006620
仏国 732570
プリユー・プラツク
黒・赤・ニユーコバルト
1オンス・2オンス・実務用大壜
PILOT INK

新定価15円 森永ミルクチョコレート

すばらしい鉛筆が生れました
その名を「ホモ」といいます
「ホモ」とは超微粒均質芯を意味し
鉛筆としては現在最高のものです
Tombow H.O.P.
トンボ鉛筆
9H―6B
17階級
1本30円

株式会社 村上商会本店
OBの店
諸君の先輩が親切に御相談に応じております
是非どうぞ
東京都港区芝新橋一ノ六 TEL(57)5095・5050

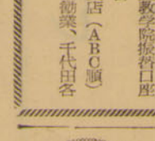
学院の充実をはかる

同窓諸氏の協力を要望

学院では十月一日を期して別項の通り立教学院債を募集することになった。大学としては大学院、鹿島拡充のための資金調達のため学院の設備等を行わねばならぬ事を目的としていが、さしあたり第一次計画として大学院理学部を新設して発行総額を五千万円とし、これを学院評議員会の承認をへて、発行方法・條件については学院常任理事会に一任、同委員は募集委員会を設置して、具体的要綱を決定、成案を得て、各校別に実行委員会をきめ具体案の実行に移したものである。学院債の発行は終戦以来困難な時局にも大学・高校・中学・小学校とも年々発展の一途をたどりながらも本学の一流校としての名声保持・完全教育達成のためには、なお一層の整備・拡充を必要とする現状にあるためである。そしてその対象も各校在学生の父兄・校友及び篤志家更に海外の校友・篤志家などに広く呼びかけることになっている。

学校法人　立教学院債募集要項

一、名称　学校法人立教学院債
一、発行総額　金五千万円也
一、一口金額　金壱千円也
債券は一口券、五口券、十口券、五十口券の四種とする
一、利息　年六分
イ、毎年九月三十日迄の分を十月一日より支払う
ロ、利息計算は支払の翌月から起算し月を以て単位とする
ハ、利息は学院事務局に於て学院債券の裏示を受け支払う、なほ利息支払の保管の方法に付ては御相談に応ずる
一、発行日　昭和二十七年十月一日
一、返済期　昭和三十年九月三十日まで据置き、昭和三十二年十月一日までに抽せんにより毎年分割返済する
一、申込日　満額に達するまで発行を継続する
但し一応の申込期日は昭和二十七年十一月三十日とする
一、債券名義人　記名式とする
但し申込者の都合により名義人を別にすることが出来る
一、申込方法　所定の申込書に御記入御調印の上左記の何れかへ申込んで下さい
イ、学院事務局
ロ、各学校事務所
ハ、郵便為替或は銀行小切手
ニ、振替口座　立教学院振替口座東京三三五六〇番
ホ、左記銀行本支店（ABC順）
富士、協和、日本勧業、千代田各本支店
一、債券名義人　記名式とする
但し一時払の他分割払も出来る
末日までに金額御払込を希望する
但し一時払の他分割払も出来る
一、利息　年六分
イ、毎年九月三十日迄の分を十月一日より支払う
ロ、利息計算は支払の翌月から起算し月を以て単位とする
ハ、利息は学院事務局に於て学院債券の裏示を受け支払う、なほ利息支払の保管の方法に付ては御相談に応ずる
一、発行日　昭和二十七年十月一日
一、返済期　昭和三十年九月三十日まで据置き、昭和三十二年十月一日までに抽せんにより毎年分割返済する
一、申込日　満額に達するまで発行を継続する
但し一応の申込期日は昭和二十七年十一月三十日とする



財務理事談

名倉喜作氏

今度母校発展のための資金を調達するため、学院債五千万円を発行するので、之に応ずる設備が整備されるのも、一方の雄として認められた立教大学の再価を維持することも困難となるであろう。

実情から観るに募債趣意書にある事業計画は何れも緊急に実現を要するもの、中でも特急実施の必要に迫まられているものばかりであるが、殊に大学関係に於て大学院の整備は何人としても一日も速かにやらねばならぬ事情にある、聞くところによれば他の大学では億に近い、或は億を超える巨額を投じて既に整備を終へたまたは整備をいそいでいるものが尠くない、立教としても相当の額を投じてこれを行うべきであるが、当面最少限度青程度の額を以てその第一期の整備を早急実施しなければ私学の一流校として認められた立教大学の再価を維持することも困難となるであろう。

岡野　正司氏

我等の母校「立教」は建学の礎から大学に至る迄毎年の入学志望者を増いてから既に六十年、其の間一貫して純青教精神に基く教育に多くの人材を出し真に人を作る学校として学者ある歴史を築きあげ特色ある私学として重きをなす風を為って集る者の何分の一かを容れ得ると止まる状況に陥る。また、学院の在学生は総て本大学への進学のみを目指しているなどいづれも学院の興隆伸展を願望するものであって我々同窓の真に喜びに耐えないところである。

学校は以上の様に発展の一途を辿っているが勿論これを以て満足すべきでなく立教として弥々その教育目的達成に遺憾なきを期するべきでなく立教として相当の額を投じて立教としても相当の額を投じてこの運動問題・解決の端緒を掴み得なかったとしても次にこの問題解決の為の起債の機運も促進されるのではないかと思はれる。私は斯様な意味からも是非今回の募債が立派な成績を挙げることを祈っている。同窓諸君の絶大な御協力を期待して止まぬ。

以上の次第であるから同窓会に多数の同窓のことであり、実行委員の連絡視れの方も起こるないと考へられるが、左様な次第で未だ申込まれぬ方は上述の主旨を汲みとられて、思出多い、懐しい母校発展の為奮発奮って応募せられんことを切に希願ひする。

応募の額は同窓会側実行委員会（一応一人五口五〇〇〇円平均）としているが応募可能の見込人数感されているところであるが、私個人の見方ではあるが若し今回の募債が所期以上の好成績を収めるのでこれによって目標額を推進されるのでなるべく多額の応募を希望するが、一方この募債を出来る限り数多くの同窓の愛校心を結集として成功せしめたい念願であるから事情のある方は二口でも必ず一口でも進んで申込まれるよう御願いしたい。

大学院整備の外拡充すべき施設は種々あるが中でも現状のまゝ放置出来ぬと思はれるものに緊急連動場がある現状は名誉ある歴史を持つ数々の競技部や現に日本の王座を占めつゝある競技部が目下若人の身心を養い意気の昂揚を期する上にまことに遺憾の限りである。このことは学校当局も充分考慮されているところであるから、既に本年度に於ても相当の額を投じて既に整備の為の準備を早急実施しなければ私学の一流校としての名声保持・完全教育達成のためには、なお一層の整備・拡充を必要とする現状にあるためである。そしてその対象も各校在学生の父兄・校友及び篤志家更に海外の校友・篤志家などに広く呼びかけることになっている。

会長　会員に要望

岡野　正司氏

我等の母校「立教」は建学の礎から大学に至る迄毎年の入学志望者を増いてから既に六十年、其の間一貫して純青教精神に基く教育により多くの人材を出し真に人を作る学校として学者ある歴史を築きあげ特色ある私学として重きをなす風を為って集る者の何分の一かを容れ得ると止まる状況に陥る。また、学院の在学生は総て本大学への進学のみを目指しているなどいづれも学院の興隆伸展を願望するものであって我々同窓の真に喜びに耐えないところである。

学校は以上の様に発展の一途を辿っているが勿論これを以て満足すべきでなく立教として弥々その教育目的達成に遺憾なきを期するべきでなく立教として相当の額を投じて既に整備を終へたまたは整備をいそいでいるものが尠くない、立教としても相当の額を投じてこれを行うべきであるが、当面最少限度青程度の額を以てその第一期の整備を早急実施しなければ私学の一流校としての名声保持・完全教育達成のためには、なお一層の整備・拡充を必要とする現状にあるためである。そしてその対象も各校在学生の父兄・校友及び篤志家更に海外の校友・篤志家などに広く呼びかけることになっている。

財務理事談

名倉喜作氏

今度母校発展のための資金を調達するため、学院債五千万円を発行するので、之に応ずる設備が整備されるのも、一方の雄として認められた立教大学の再価を維持することも困難となるであろう。

実情から観るに募債趣意書にある事業計画は何れも緊急に実現を要するもの、中でも特急実施の必要に迫まられているものばかりであるが、殊に大学関係に於て大学院の整備は何人としても一日も速かにやらねばならぬ事情にある、聞くところによれば他の大学では億に近い、或は億を超える巨額を投じて既に整備を終へたまたは整備をいそいでいるものが尠くない、立教としても相当の額を投じてこれを行うべきであるが、当面最少限度青程度の額を以てその第一期の整備を早急実施しなければ私学の一流校としての名声保持・完全教育達成のためには、なお一層の整備・拡充を必要とする現状にあるためである。そしてその対象も各校在学生の父兄・校友及び篤志家更に海外の校友・篤志家などに広く呼びかけることになっている。

（写真は定期総会）

第十四回定期総会開く

追放旧教授の復学問題など報告

第十四回定期総会（昭和二十七年度）は、丸ビル講堂にて、五月二十一日午前より同野会会長の挨拶の後、報告協議に入った。

一、報告事項

1会長は特に旧職員諸氏に協力の件を強調説明し将来とも会員各位の御支援を希望した。2次に事業報告には格調されていないが追放旧教授の復職問題に関して学校当局は同窓会との微妙なる事情を憂慮して会長あるいは副会長佐伯氏等を各個に訪問してのことを話伝達したが、今年度は大野氏にその旨伝達したが、今年度は大野氏の都合により見合せることになった。

大野氏は経済学部に空席がなく何とも致し方がないが、文学部社会科の経済原論担当教授として迎え内事情に依り全部をお迎えするまでに至って居らない。金子尚一氏は、文学部に決定をみたが、これまた本人の都合によって取止めになった。以上その他の事項について会長は、同窓係中村氏を指名し説明せしめた。

二、協議事項

1昭和廿六年度収入支出決算及財産目録、特別会計中間報告、原案通り可決。2昭和廿七年度会費三百円に可決。3昭和廿七年度事業計画案可決。4昭和廿七年度予算案原案通り可決。

三、以上をもって第十四回定期総会を終了した。

ついで旧広報氏理事上に上り、過日本紙上に掲載された会長、副会長辞任問題に就いて説解無きようにしたいと前提して大要左の通り説明があった。会長は健康上の理由で、今年度を以て辞任したい旨、前回理事会に申出があったことは事実だが、任期半ばにして種々の混乱を起げる意味からもまた後任会長の見当るまで後一ケ年の任期一杯留まって貰い度いとのことで理事会としてはこれを取上げなかった。これについて三副会長は岡野会長の下に副会長に就任したものであるから会長が辞任すればわれわれも辞任しようと言うことになった。

時たまたま本紙上に、恰かも同窓会の内紛や学校とのいさこさがあるような誤解を受ける印象の記事が出たが、決して本会には内紛もないしまた学校との関係も至って円満である。会長の辞任問題に就いてはその後常任理事会において岡野会長に任期一杯やって貰い度旨を熱望した。これに対し岡野会長は会の御厚情を謝し且つ御支援を乞いとの混乱をさける意味から、実共に立教大学の真価発揮出来るようにして頂きたい。中川理学部長、謝辞と共に来年度卒業する第一回卒業生の就職の斡旋方懇願九州より出て級の追憶に就て。伊沢寿氏（明44）鶴岡立教会会長、名倉喜作氏（大3）本会副会長、佐伯松三郎氏（大14）本会顧問、理事、文学部学院事務理事としての、同窓各位に将来とも一段と御協力を仰ぎ名地源せられた。以上をもって懇談会を終った。

廿七年度事業報告

一、会報発行（今天新聞合併同窓会版）昭和廿六年四月　六〇〇〇部発行、同年七月　六〇〇〇部発行、同年十月　六〇〇〇部発行。同年十二月　六〇〇〇部発行。

二、記念碑模及緑化運動　廿六年度三百年卒業生を主体として其他の有志らの拠金で八重桜九本を正門側に植樹した。三、会員名簿発行と補訂した。四、就職斡旋及紹介　本年度卒業生に対し、会員名簿発行と補訂した。五、支部結成、奇居住運動　本年度結成せる支部・職域支部左の通り、1仙台セントポールクラブ3日本一周セントポールクラブ2北区セントポールクラブ4湘南セントポールクラブ5摩耳総行立教会6浦和セントポールクラブ7区別カードの整備　会員の区別カードの整備を完成してこれが利用を図にした。七、本会基金設置運動　基金設置委員会を設置して左の件を実施した。1、洋書購入　2、二、本年度中会議　定期総会1、理事会八回、常任理事会六回、理事会八回、懇談会二回、名九人・廿六年度分三、二〇〇（九〇〇）廿五年度分五、六〇〇（五〇〇）円。

◇廿七年度第二回理事会　は十月廿日（月）午後五時半から建築会館七階で開催、報告事項次の通り

一、一般会務について1、会費徴収　2、卒業記念碑模及緑化運動　3、地方、職域の支部長　4、就職斡旋協力　5、基金設置運動　6、会員名簿発行　7、職業別カード調製　8、物故会員追悼会　以上

◇大学案行委員会同窓側連絡委員　次の通り、本会副会長青木雄七氏、同佐伯松三郎氏

◇同窓側実行委員、次の通り

1、本会幹任理事会員2、同理事参与、中各年度毎二名万至二名、其他各年度より推薦せる若干名、3、地方、職域の支部長

◇募債実行具体的事項次の通り

（割当三〇〇〇万に対し）

1、連絡委員は各年度毎に通信可能人員の八〇％に五〇〇円（五口）を掛けたものを最低額として一応御当各年度の実行委員に提示し、例大正十四年度、通信可能人員七五名八〇％（六〇名）×五〇〇〇円＝三〇万円の如く

尚高額割当募集見込の方の芳名を報告して頂く。

本年度事業報告

◇廿七年度第二回理事会　は（九月完成）六、幹事選任規定並に理事会選任に就いて修正、一、幹事選任規定並幹事選任に就いて修正、二、理事会選任規定案を提出（最後に協議）二、一般会務報告三、会報発行について、1、学院債募集に就いて広く会員に憂慮心を訴えて協力を願うことの為に会員に照会して貰って貰うことの為に立教大学新聞同窓会版を発行する四、立教学院債募集に就いて（一）実行委員の選出に就いて理事会記載を願う。

幹事の選任は常任理事会に於て推薦し会長これを委嘱する。

幹事は常任理事としての任期満了後も後任者が決定するまで其の職務を執行する。

幹事選任規定

理事会就書として成文化し就任

◇同窓会事務所は東京文学部研究室殿下にあります、地方から御出の会員は是非お立ちより下さいまして極力御利用下さる事を切望します。

立教学院債募集計画と経過

同窓便報告

昭和廿七年度事業計画案

一、会報発行　立天新聞合併同窓会版

二、卒業記念碑模及緑化運動

三、支部結成発展に注意成の運動

四、就職斡旋協力

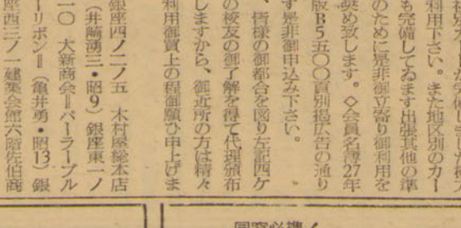
五、基金設置運動

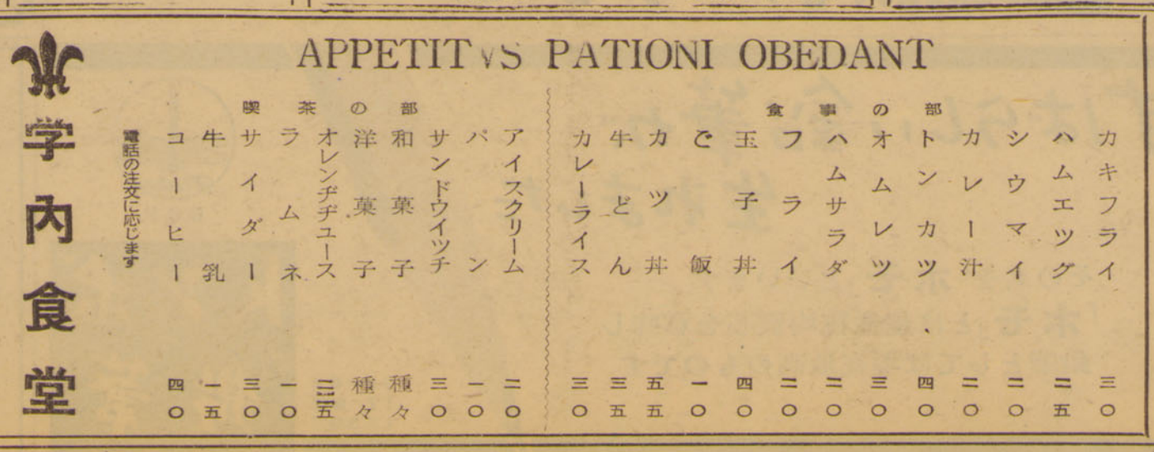
六、会員名簿発行

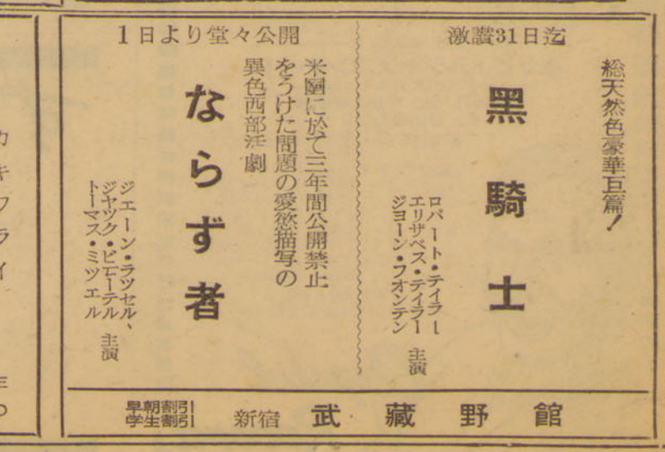
七、職業別カード調製

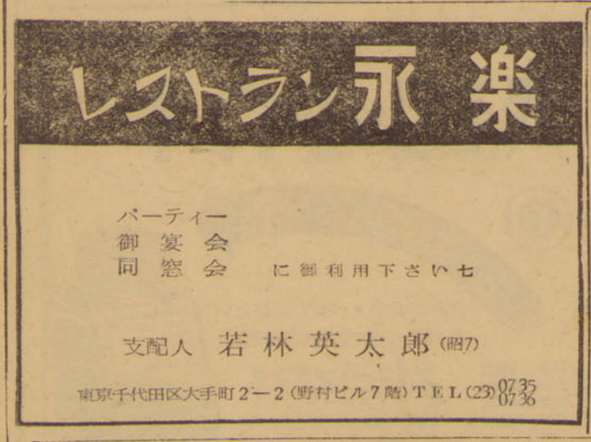
八、物故会員追悼会

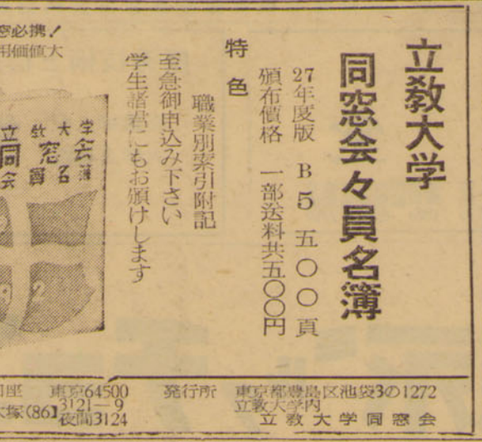
（三面より続く）

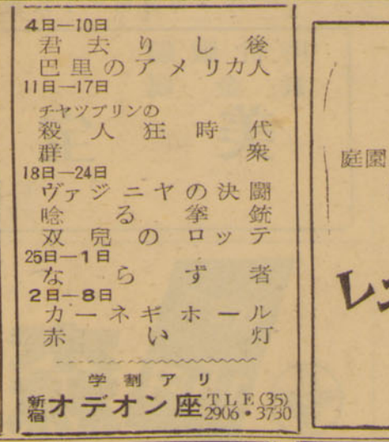












BSK
告知板
11/2　パパ　先に滑べって居ます。　ママ
11/2　デコちゃん氷がとても良いので先に入って居ます。　良
11/2　五郎君　氷が良いから明日もココで滑べろう。　四郎
11/2　十時までにこい。
11/2　五百助さん木ゲタ靴が新しくて滑べり良い。君も
11/2　木ゲタ靴で滑べり結え今日は先に失礼します。　弘男
11/2　宮本君　遅えず残念。明日は出直して来る。　小次郎
駅前だから時間は遅れない。
11/2　杉女史
今日はお先に帰ります。氷が良いので楽しく滑べれました。　高杉
新宿　東京スケートリンク　電話（35）二七六八二七七〇

科目	収入	支出
前年度より繰越金	73,224.08	
普通会費	480,000.00	
同（新入会員）	111,400.—	
学生予納会費繰越預り金	148,650.—	
学生予納会費預り金	212,500.—	
雑費収入	150,000.—	
事務所費		235,000.—
会報費		125,000.—
行事費		30,000.—
バッチ製作費		38,500.—
会議費及同補助費		30,000.—
通信費		90,000.—
各種分担金		10,000.—
各連支部補助費		10,000.—
雑費		25,000.—
返済期定		205,650.—
予備費		5,474.08
次年度へ繰越預り金		361,150.—
合計	1175,774.08	1175,774.08

科目（予算）	収入	支出
前年度より繰越金	32,674.06	
普通会費（1800人×300）	319,500.—	
同（新入会員）540,000.—（88,500.—）	88,500.—	
学生予納会費（150,000.—）	205,650.—	
預り金（25,000.—）	43,232.02	
雑費収入		
事務所費（192,000.—）		150,523.—
会報費（220,000.—）		264,477.—
行事費（30,000.—）		31,739.—
バッチ製作費（59,500.—）		30,350.—
会議費及同補助費（40,000.—）		25,653.—
通信費（72,500.—）		67,648.—
各種分担金（14,000.—）		9,000.—
各連支部補助費（15,000.—）		5,000.—
雑費（10,000.—）		2,500.—
備品費（25,000.—）		29,742.—
次年度へ繰越預り金（8,174.06）		
返済期定（150,000.—）	205,650.—	
予備費（8,174.06）	822,282.—	
小計	689,856.08	
入金合計	205,650.—	
次年度へ繰越金	73,224.08	
合計	895,506.08	895,506.08